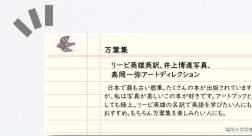




司書おすすめの本

図書館スタッフがみなさんにおすすめしたい本を紹介しています。
コメントを読んで、ピンときたら借りてみてください。



カードをクリックすると
図書の詳細画面(蔵書検索)が開きます。

	万葉集
	リービ英雄英訳、井上博道写真、 高岡一弥アートディレクション
	日本で最も古い歌集。たくさんの本が出版されていますが、私は写真が美しいこの本が好きです。アートブックとしても極上。リービ英雄の名訳で英語を学びたい人にもおすすめ。もちろん万葉集を楽しみたい人にも。
	福岡大学図書館

	14 歳からの哲学：考えるための教科書
	池田晶子
	ずっと「哲学」って難しそうとか暗くて不可争と思って避けてきた。でもずっと気になっていた。ちゃんと知らなきゃダメなんじゃないかって。そんな私が手にした本。「14歳!中学生じゃん」って思った君。大丈夫。Ⅲ章は「17 歳からの哲学」。君たちにもピッタリ!
	「もっと知りたい!」とか「この本はちょっと違うかも…」と思った人は今話題の日本の哲学者の本を読んでみては?
	日本の哲学者。 ・青山拓央 ・小川仁志 ・萱野稔人。 ・國分功一郎 ・千葉雅也 ・古田徹也 ・山口尚。
	福岡大学図書館

	透明な夜の香り
	千早茜
	夜の静謐な空気に包まれた小説です。依頼者の望むどんな香りでも作り出す調香師の朔と、朔の元で家事手伝いのアルバイトをすることになった一番、2 人が古い洋館で送る日々の物語。夜道にふいに漂う花の香りのように、それぞれが抱える秘密の匂いが混じり始めます。
	文章から匂い立つ香りを感じる不思議な一冊です。冬の夜にぴったりなので、芳醇な世界をぜひ堪能してください。ハーブティーを用意しておくといかもかもしれません。
	福岡大学図書館

	おいしい水
	原田マハ著、伊庭靖子画
	原田マハには珍しい?ラブストーリーです。伊庭靖子の光を感じる会が空間も物語にマッチしています。
	この本を読んで「原田マハ、好きかも…」と思った人はキューレーターでもある作者のアートを題材とした代表作も読んでみては…?
	『楽園のカンヴァス』。 『ジヴェールニーの食卓』。 『暗幕のゲルニカ』。
	福岡大学図書館

	未来いそっぷ
	星新一
	皆さんは質の良い睡眠をとれていますか?ねる前はスマホを見ないことも良質の睡眠をとる条件のひとつとか。そこで、ベッドで読む本としてオススメ。クスッと笑える短いが33 編。
	有名な「ウサギとカメ」のお話も結末は同じカメの勝利!ですが、どうしてカメが勝ったのか?ブラックな理由は読んでの楽しみ♡
	元ネタ?の「イソップ物語」を読みたい人はこちらを。 ・『イソップ寓話集』。 ・『英語対訳で読むイソップ寓話:古典にビックリ!。今ためになる!』。
	福岡大学図書館

	ほんどうのリーダーのみつけかた
	梨木香歩
	タイトルを見た時は「ビジネス書?」と思ってしまった。そうではなかった。著者の「僕は、そして僕たちはどう生きるか」の文庫化に際して開催された講演会の内容を文章化したものだった。当然話し言葉であり、平易で短時間で読むことができる。しかし、とても深い。
	「ほんどうのリーダー」は誰なのか?読んで自分自身で確かめて欲しい。
	「もっと深く知りたい、考えたい…」と思った人には。 『僕は、そして僕たちはどう生きるか』。 『君たちはどう生きるか』。
	福岡大学図書館

	世界で最後の花 絵のついた寓話
	ジェームズ・サーバー作 村上春樹訳
	第二次世界大戦が勃発した 1939 年に刊行された絵本が村上春樹の新訳によって大人のための寓話として2022 年に出版されました。帯には「現代に生きる全人類に捧ぐ、戦争を考える本」とあります。ぜひ読んで考えてみてください。
	福岡大学図書館

	ねむり
	村上春樹
	村上春樹の短編「眠り」が本人の言葉によると、「ヴァージョンアップ」され、「ねむり」となって、ドイツの気鋭画家カット・メンシックのイラストレーションとともに出版された一冊。
	村上春樹未読者には”村上春樹らしい短編小説”としておススメしたいし、アート好きな人には”小説×アート”のヴィジュアル・ブックとしておススメしたい。
	私は 30 年前に読んだ「眠り」を再読して、ヴァージョンアップ前と後の違いを楽しみたい。
	*「眠り」『TV ビーブル』に収録
	福岡大学図書館

	日本国憲法
	「写楽」編集部編集
	あなたは、日本国憲法の前文を読んだことがありますか?この本はわずか 127 ページ。解説はなく、憲法全文、脚注と写真のみ。「写楽」という写真を中心とした雑誌の編集部が作った本で発行当時には年間売上 7 位となったベストセラー。この機会に全文を通して読んで、考えてみませんか?
	福岡大学図書館

	サハマンション
	チョナムジュ著 斎藤真理子訳
	舞台は「タウン」と呼ばれる世界で一番小さく、一番小さく、一番異常な都市国家。「タウン」には「L」と「L2」の階層があり、「サハマンション」に住む「L2」の中でも名前さえない人々の物語。でも、近未来小説でもサスペンスでもない。「82 年生まれ、キム・ジョン」の作者チョナムジュが描く世界。一読を。
	福岡大学図書館

	傷を愛せるか
	宮地尚子
	「過ぎてしまえば笑い飛ばせることも、悩み事の真っただ中にいるときは、見通しのきかない、いつ終わるかわからない果てしない暗闇だ。階段をのぼっている最中は、それがどこまでつづくのか、のぼった先になにがあるのかはわからない。俯瞰的に眺めることができるのは、そこから抜け出し、階段をのぼり終え、振り返ったときだけだ。」(p.19~20) 読み終えた本は付箋だらけになっていた。
	福岡大学図書館

	急に具合が悪くなる
	宮野真生子、磯野真穂
	本学人文学部教授であった宮野真生子先生と亡くなるまで友人であり人類学者である磯野真穂先生と交わした往復書簡。闘病記としてだけではなく、強さ、明るさ、前向きな姿勢、そして哲学者として人類学者からの問いに答え続けた言葉を受け取ることができます。宮野先生の講義を受けることも、お話を聴くことも今はもうできませんが、せめてこの本を読んで先生からのメッセージを読み取ってください。
	福岡大学図書館



	
	まさかジープで来るとは
	せきしろ、又吉直樹
	自由律俳句とエッセイ。せきしろと又吉直樹、二人が交互に詠み、書く。 ・日記を劇的にしたがる癖がある(又吉) ・飛んできたシャボン玉の出所を探す(せきしろ) ・味がある顔という褒め方(又吉) ・普通の人間などいないと言うがたまにいます(又吉) ・すべては布団の中で考える(せきしろ) え!?これが俳句?と思った君。 君も句作にチャレンジしませんか?
	福岡大学図書館

	
	検証ナチスは「良いこと」もしたのか?
	小野寺拓也、野田大輔著
	「＜事実＞から＜意見＞へと飛躍することへの危うさは、何度でも指摘しておく必要があるだろう。＜意見＞をもつことはもちろん自由ではあるが、それはつねに＜事実＞を踏まえた上で、＜解釈＞もある程度はおさえたものでなくてはならない。」と本書の「はじめに」にある。歴史学を学ぶ人に向けた言葉であるが、それに限らず、レポートを書く時に、SNS に投稿する時に、私達皆が考えなくてはならないことだろう。本題の「ナチスがした良いこと」として取り上げられているテーマについても無論、詳しくわかりやすく検討されている。
	福岡大学図書館



	
	一人称単数
	村上春樹
	村上春樹の短編小説集。作家によっては長編と短編で作風が異なる場合もあるが、村上春樹はどちらの世界観もあり変わらないように感じる。短編にはエッセイのユーモアや軽さも感じられるので、村上春樹初心者、はまず短編から読み始めるのも良いのでは…。
	福岡大学図書館

	
	ある一生
	ローベルト・ゼーターラー著 浅井晶子訳
	いつから私たちは”いいね”や”エモ”や”炎上”を求めるようになったのでしょうか。この本は刺激や変化といったものから遠いところにあります。でも、いえだからこそ深く静かにひっそりと私たちの心に残る物語です。今すぐにも、この先いつかでも、ぜひ読んで欲しい一冊です。
	福岡大学図書館

	
	正義の味方が苦手です
	古市憲寿
	新書って難しそうですね。表紙も地味で。この本はコメンテーターとしてテレビでもみかける古市憲寿の著書。221ページを全て読むのはシンドイ…と思う人は、わずか11ページの「はじめに」だけでも読んでみて!それだけでも「へえ~こんな考え方があるんだ~」と感ずることが出来ます。もうちょっとなら読める!という人は、おもしろそうな章だけを拾い読みするか、各章の終わりにある「古市君」の似顔絵下の数行の文だけを読んでも、新しい発見があると思います!!
	福岡大学図書館

	
	水族
	星野智幸著 小野田維画
	最近では度々見かける近未来的?異空間?小説。小野田維の繊細な色彩表現と精密な画線の絵も楽しめる一冊。三島由紀夫賞、野間文芸賞、大江健三郎賞、読売文学賞、谷崎潤一郎賞と数々の受賞歴がある作者の他の作品もぜひ一読を。
	福岡大学図書館

	
	物語のあるところ 月舟町ダイアログ
	吉田篤弘
	小説家の「ぼく」は、自分の描いた物語の中にある町「月舟町」におもむき、おなじみの登場人物たちと語り合う。 作者は、作品を作り出すことを小説の中の「月舟町」に「おもむく」と言います。 おもむいた先で考えることで、作品が動き出すようです。 読み進めると、私も対話に参加してみたいと思いました。 作者と物語の登場人物との対話で深まる不思議な物語論です。 おすすめは、物語を一人称で書くか、三人称で書くかについて。 みなさんも「月舟町」に出かけて、作者の頭の中をちょっとだけのぞいてみませんか。 この本を読んで他作品を読んでも、他作品を読んでこの本に戻ってきて楽しめます*
	福岡大学図書館

	
	「みんな違ってみんないい」のか? 相対主義と普遍主義の問題
	山口裕之
	私は小学校で、金子みすゞの詩とともに「みんな違ってみんないい」と教えられましたが、ずっと違和感をもっていました。この本のタイトルをみて「コレだ!!」と思いました。「人それぞれ」といって他人との関係を切り捨てたり、理解する努力をやめていないかという疑問を考えていく内容となっています。大学生になったみなさんも社会に出る前にじっくり読んで考える時間をもって欲しいと思います。
	福岡大学図書館

	
	中学生から知りたいパレスチナのこと
	岡真理、小山哲、藤原辰史著
	遠い過去に起因する問題が、今もなお続いていること。そして私たちとは無関係ではないこと。知っておくべきことがかかれています。
	福岡大学図書館

	
	伝える本。 受け手を動かす言葉の技術。
	山本高史
	言葉で人を動かす仕事を生業にしているコピーライターが、「言葉は伝わらない」という前提で書いた本です。「あなたが伝えたいことを、相手が伝えてほしい言葉に変換する」方法、そのメカニズムについて、丁寧に(時々、乱暴に)説明されています。この本を読んだあと、どうして自分の言葉が妻から軽んじられるのか、5歳の娘が呆れた顔で離れていくのがわかったような気がしました。
	福岡大学図書館

	
	杉森くんを殺すには
	長谷川まりる作 おさつ装画・挿絵
	衝撃的なタイトル、しかも今年の夏休みに中学生向け読書指定図書ということで書店で目をつけていた作品。さらに出版社は、懐かしい『くもん』の児童文学です。「人は一人では生きていけない」と一言で表すとお決まりの感想しか出てこない私ですが、他の方はこの本を読んだらどんな気持ちになるでしょうか。登場人物がたくさん出てきますが、それぞれ色々な悩みや葛藤を抱えています。きっと誰でも同じような思いを持っていると思います。どの人物に共感し心を寄り添えるでしょうか。
	福岡大学図書館

		
	民主主義とは何か	
	宇野重規	
	東京都知事選、自民党総裁選、衆議院選、そしてアメリカ大統領選。これほど注目を集めた選挙が次々と行われて、政治が大きく変わることに参加できた稀有な一年でした。私はこの機会に選挙や政治について知りたい!と思いました。この本はそんな時に会った一冊。＜一人ひとりの読者がそれぞれに「民主主義を選び直す」ことが本書のゴールなのです＞と「はじめに」に記されています。あなたもゴールを目指してこの本を読むことで一歩を踏み出してみては？	
		福岡大学図書館

		
	なにものにもこだわらない	
	森博嗣	
	あなたの「こだわり」が、あなたを苦しめていませんか？好きで始めたはずの「こだわり」が、いつの間にか「しなくちゃ」になる。こだわりは、続けないといけないなんて決まりまはない。テーマに限らず、ハツとする言葉とたくさん出会うことのできる本。筆者のように、周囲の評価にこだわらなければ、自分のための人生を生きられるように思います。でも…やっぱり難しい！	
		福岡大学図書館

		
	望郷	
	湊かなえ	
	"イヤミスの女王"として知られる湊かなえさんの連作短編集です。6 つの短編は全て瀬戸内海に浮かぶ島を舞台としています。環境の閉塞感や屈折した心の内の描写など、著者ならではの魅力もありつつ、読後感は重すぎないので、イヤミス入門にいかがでしょうか。	
		福岡大学図書館

		
	水車小屋のネネ	
	津村記久子	
	ネネはヨウムという鳥。そば粉をひく水車小屋で白の見張りをしています。ネネとネネの周りにいる人たちの 40 年の物語は、自分も一緒に生きているような気持ちにさせてくれます。物語にひたる心地よさを味わいたい方へおすすめです。ちなみにヨウムの寿命は 40～60 歳だそうです。	
		福岡大学図書館

		
	靴下バカー代 奇天烈経営者の人生訓	
	越智直正	
	靴下はどのブランドが好きですか？と言われてパツと思出すのは『靴下屋』『タビオ』ではないでしょうか。生地がよくて縫製もよくて可愛くて、お店もお洒落で…と思っていたが、この本を読むとイメージが変わります。経営と最高の靴下について関西の面白い語り口で書かれています。創業者ならではのお話で、行動力や経験を学びに変えることは大切、勉強になります。この本は2016年発行されていますが、現在も越智家の方が取締役と社長をされてるようです。企業が気になったら福大 HP から日経テレコンの企業検索へ。	
		福岡大学図書館

展示図書は続々追加中。
中央図書館2階展示コーナーを
チェック！

